



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

大盛会となった「Okinawa Colloids 2019」

はじめに

コロイドおよび界面化学討論会が70回の節目を迎えることを記念した国際学会「Okinawa Colloids 2019」を「Colloids for Sustainability」を主題として2019年11月3日(日)～8日(金)に沖縄県名護市の万国津梁館で開催しました。

参加者数は33カ国から1021名(うち海外からの参加者は248名)、予算規模は日本化学会の年会に匹敵する約6,000万円と、「討論会の70回を盛大に祝う」という趣旨に相応しいビッグイベントとして大盛会のうちに終えることができました。



集合写真

開催内容

万国津梁館は2000年の九州・沖縄サミット首脳会合の議場に選ばれた、美ら海に囲まれたリゾートコンベンション施設です。「この最高のロケーションで世界各国からの参加者とフランクに交流できる、従来の国際会議とは一味も二味も違う特別なイベント」を目指して、実行委員会では様々な取り組みを行いました。

プログラム編成にあたってはコロイ

ド・界面化学分野の最新の話題が議論されるよう、キーノートおよび招待講演枠の多くを若手研究者に割り当てました。またキーノートスピーカーの女性比率を約30%とするなどジェンダーバランスにも配慮しました。さらに多数の企業からサポートをいただいて手厚い旅費補助制度を準備し、国内外のポスドクや学生が参加しやすい環境を整えました。

ロジの面では昼休みは食事付きで80分程度とする、午前と午後に長めのコーヒーブレイクを設けるなど、参加者が交流を図る時間を十分に確保しました。ドレスコードとして「かりゆしウェア」を推奨するなど、「沖縄らしさ」の演出にも努めました。会期中は好天に恵まれたことも相まって、最終的には屋外の芝生の上で参加者がリラクセスして交流する最高の雰囲気の学会にすることができました。



会場風景

「Okinawa Colloids 2019」では託児サービスを準備したのに加えて、討論会初の試みとしてセッションやバンケットへの子供連れでの参加を可としました。会場のそこかしこで目にすることとなった小

さな子供たちの姿は、会場の雰囲気を本当に特別なものとしてくれました。参加した子供たちにとっても貴重な体験となったようで、「会場で過ごすのが楽しすぎて子供が託児サービスに行ってくれない」という苦情(?)が出たほどでした。



バンケットの1コマ

おわりに

参加者の中にはコロイドおよび界面化学討論会に初めて参加するという方も大勢おられました。次回は2020年9月14日(月)～16日(水)に東北大学で開催します。それまでにぜひとも部会への入会をご検討下さい。下記のURLからオンラインで簡単に手続き可能です。

<https://colloid.csj.jp/participation/>

最後になりましたが現地実行委員会を設置せずに開催した今回の学会は、沖縄観光コンベンションビューロー、名護市、万国津梁館、沖縄ツーリスト、ザ・ブセナテラスの方々の献身的なサポートなしには到底実現できませんでした。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

〔Okinawa Colloids 2019 実行委員長
出口 茂 (海洋研究開発機構)〕

© 2020 The Chemical Society of Japan